



小原木小学校のみなさんと

ガーデンを考える会 第3回被災地小学校 支援報告

気仙沼の児童と植え込みなど

NPO法人ガーデンを考える会では、東日本震災被災地の小学校に対する支援活動として、昨年に引き続き岩手県釜石市の小学校4校および宮城県気仙沼市の小学校11校に、3回目の支援活動を6月13～14日に行った。

ガーデンを考える会では、両地区の小学校を対象とした長期的な支援プログラムを計画し、花壇やコンテナへの花や野菜の植え込みを通して、植物に係る児童教育の一環として役立ててもらおうと考えている。

今回は気仙沼市の小学校8校を訪問し、その内の4校は授業活動として、会員有志9名と共に花苗や野菜苗等の植え込みを行った。そのほかの気仙沼市の小学校3校および釜石市の小学校には、花苗や植え込み資材の提供をした。支援内容としては、春から夏花壇向けの一年草を主体とした花苗を約2300ポット、ミニトマトを主体とした野菜苗を約350ポット、グリーンカーテン用の苗を約100ポット、それを植え込む



児童、仮設住宅の住人の方など
総勢100名で植え込み(小原木小学校)



ガーデンを考える会会員会社の社員が
植え込みを指導

コンテナを250個、培用土を約10t、肥料・野菜用支柱・グリーンカーテン用のネット等を、会員メンバーおよび園芸業界被災地支援の会(中島吉之代表)から募り、秋まで楽しんでもらえるコンテナや花壇・グリーンカーテンづくりのお手伝いをした。

当日は2班に分かれ、小原木小学校・鹿折小学校・九条小学校・中井小学校・唐桑小学校・松岩小学校・面瀬小学校・階上小学校を訪れ、1年生から6年生までの多くの児童と一緒に植え込み、その内の小原木小学校では、隣接する仮設住宅30戸の皆さんと、総勢100名程で2時間近くをかけて植え込みを行った。また、併せて今後の支援活動の希望等の聞き取り調査を行った。

先生方の話によると、児童を取り巻く社会環境が大きく変化中、個々の児童の生活環境に格差が現れ始め、さまざまな面で問題の芽となってきたことを危惧されていた。また、津波による海水の浸水で、校庭の一部の樹木に深刻な影響が出てきていると心配する

小学校もあった。ほとんどの小学校では、以前のような「緑花」に関する予算を組む余裕はなく、かといって国や自治体からの震災復興予算には優先順位があり、学校花壇や校庭の樹木類に予算が充てられるようなことは、当分の間は期待できない状況だ。現状では民間からの支援に頼るしかないとのことで、我々の会からの長期的な支援取り組みは、大変有難いし期待もしているとのこと。

震災から1年以上経ち、ともすれば被災地域への支援活動への関心は薄れていきがちなのもある。しかしながら実際に現地に来てみると、震災直後とは異なった幅広い支援が必要になってくる。

ガーデンを考える会では、継続的な支援活動として、今年の秋に4回目の支援活動を予定している。ぜひ多くの皆様、これらの活動に参加していただければ、これらに願っている。

(NPO法人ガーデンを考える会会長
水野 隆)

●支援活動協賛会員等

アップルウェア(株)、さんこうえん、
(株)シモジマ、(有)角田ナーセリー、
豊明花き(株)、中島商事(株)、
(株)花ごころ、(株)ハクサン、
ハクサンインターナショナル(株)、
北越農事(株)、(株)牧野、(有)緑花技研、
(株)レイ・ハウス、
園芸業界被災地支援の会

東日本大震災復興支援プロジェクト 「はじめよう 緑のカーテン」 盛況裡に3日間



新宿都心・大久保公園で開いた「はじめよう 緑のカーテン」会場

NPO法人ガーデンを考える会とNPO法人屋上開発研究会主催によるイベント「はじめよう 緑のカーテン」が、5月25〜27日までの3日間、新宿区大久保公園で開催した。共催…歌舞伎町タウン・マネジメント、後援…新宿区、協賛…財団法人都市緑化機構。

緑のカーテンに必要な苗・資材を即売

このイベントは、緑のカーテンの啓蒙普及のためと、東日本大震災復興支援プロジェクトを兼ねて開催されたもので、売上金は震災支援に使われる。

会場の大久保公園は、JR新宿駅より数分の都会の中心地で、会場にはテントが何張りも立てられた。緑のカーテンに向くつる性の植物が、販売用で10種類あまり、サンプルも含めると20種類を超す植物が展示された。また、パッションフルーツの試飲や葉が食べられるつる植物「おかわかめ」の試食も行われ、好評だった。

資材は、ネットやプランターをはじめ、用土、肥料など、緑のカーテンに必要なものがそろえられた。展示・即売関係では、両NPO法人のほか、都市緑化機構や団体に属していない企業も多く協賛した。植物資材のほかにも、人材支援で30名近くの協力が得られた。

初日は小雨が降る中だったが、新宿区の広報によるイベントのお知らせがあったこともあり、園芸好きや、緑のカーテンに興味を持つ人たちが三々五々来場し、両NPO法人関係者および東京農大の学生などのスタッフが、植物や資材を説明しながら接客

した。初日には中山新宿区長が来場し、緑に関する企画と雰囲気の良さに「秋にも都市緑化フェアから始めて何かイベントができれば」と大変喜んでいた。

2日目の土曜日・3日目の日曜日は晴れたが、新宿という立地上、車では来ることができないので、非常に混雑したということとはなかった。それでも、毎日数百人の方々が公園に来て、会場をゆつくり見て回り、スタッフとの会話を楽しんでから品定めをして、数十組が商品を買っていった。

来場者の中にはアジア系の人もおり、「育った家にはパッションフルーツがいっぱいだった」と懐かしげに話し、購入した。

今回のイベントについて、企画から当日まで通して関わった藤田理事は、「多くの生産者・企業・個人のご協力で開催することができ、感謝しています。今まで植物に興味なかったと思われる人も、色々な植物を購入していき、一般消費者へのPRの必要性を感じました。初めての企画で、開催場所の特性把握・PRに課題が残りました。」と感想を述べた。(山川)

資材ほか支援企業

企業名	支援内容
㈱プラネット	苗、土壌、説明員
㈱水谷農園	バラ苗
山弥織物㈱	ネット
㈱秋本天産物	空中栽培セット
㈱ニチカン	カラー支柱
アップルウェア㈱	プランター
㈱リビック	撤去トラック
南出㈱	プランター・ネット・簡易給水器
㈱花ごころ	土壌
角田ナーセリー	苗、ゴーヤ試食
日東紡	ロックウール
福井シード㈱	フルーツぼうずき他
㈱サカタのタネ	苗、パネル資料
㈱ハイポネックス	肥料等
㈱ウインター・オブ・ジャパン	苗
㈱JA東海グリーン	パイオ堆肥
㈱エクソテックプランツ	スネールフラワー他
豊明花き㈱	名古屋から物品搬入
㈱ワリオ・アクション・ジャパン	苗・説明員
メネデル㈱	肥料・活力剤
住友化学園芸㈱	肥料・農業等
タイトウテクノグリーン㈱	結束テープ
都市緑化機構	協賛
㈱緑花技研	パネル作成



親子連れや若い女性などで賑わった



新宿区長の来訪



簡単に育つことや、収穫の楽しみを説明しながら接客